

# 郵便教育セミナー 松山会場 御礼新聞

## 山下健一郎部長開会あいさつ

昨年は全国で2会場だけだった郵便教育セミナー。今年は、開催を増やし十会場を越えた。全国各地で郵便教育の取組が広がるのを期待していると日本郵便切手・葉書室 山下健一郎担当部長より開会のあいさつがあり、郵便教育セミナー松山会場が開幕した。



## 郵便局と連携した 社会貢献活動の報告

愛媛県での郵便局と連携した取り組みについて、伊藤篤志先生、井上武先生、土居真由先生が報告した。郵便局で手紙の書き方教室を開催し、自分の書いた葉書がどういう流れで届くのかを、郵便局内を見学。これらの活動に、子どもも保護者の方も大満足であった。  
愛媛県では郵便局とTOS S教師との郵便教育交流会が今年三月に開催された。他県にも愛媛県と同じような取組が広がることを期待される。



## 地元教師による郵便特別授業

愛媛県の戸井和彦先生は、なぜポストは赤いのかという疑問から、赤くないポストはあるのか、世界中のポストはどうなっているのかを授業した。愛媛県ではたくさんの方で郵便教育が進められていることも報告した。



## 郵便教育の特別模擬授業

東京都からの戸村隆之先生が、特別模擬授業を行った。消費税変更に伴った値段の変化もテキストに入っていることや、郵便局の様子がわかる動画を紹介。手紙の書き方テキストを使う上での、工夫を知ることができた。



## 手紙の書き方テキストを使った模擬授業

### 低学年 黒光美香 先生

愛媛県の黒光先生は、テキストを使って宛名の書き方を低学年の子どもにもわかりやすく授業した。



### 中学年 齋藤徳三 先生

香川県の齋藤先生は、卒業した教え子からの葉書をもとに、書き出し↓本文↓結びの文章の書き方を授業した。



### 高学年 光村拓也 先生

香川県の光村先生は、用意が簡単な絵手紙の描き方を授業した。筆の代わりに綿棒を使った絵手紙に郵便局の方々も熱中していた。



### 中学校 中川貴之 先生

高知県の中川先生は、中学生用テキストをもとに、大人でも迷う時候の挨拶や、賀詞について授業した。会場が笑顔と知的な空気に包まれた。



## 閉会の挨拶

四国支社犬伏営業部長は、今後とも郵便教育を推進していくために、連携を強めていきたいと閉会の挨拶で述べられた。  
四国内の郵便教育がさらに発展する良い機会となるセミナーであった。



**TOSS とは？** 子どもにとって価値のある教師(教え方のプロ)になるための研究組織。すぐに役立つ教育技術、指導法を開発し、自らの授業の技術を高め、教育現場で活かしていくことを目的に活動している。全国各地で700サークル約1万人の小中高教員が参加する。代表は向山洋一。

